



## 校長室の窓

令和8年4月22日

学校だより第1号より

### ～温かなつながりの中で 令和8年度スタート～

校地内の桜が、子供たちの入学と進級を祝うように花を咲かせました。八瀬にも春本番がやってきました。澄んだ青空と青々とした里山に囲まれ、令和8年度の月立小学校がスタートしました。

今年度の入学児童は1名です。入学式では、全校児童が参加してお迎えの言葉を発表しました。新しい仲間を迎えるうれしさと、入学を心待ちにしていた気持ちが、子供たちの言葉や表情から伝わってきました。

その翌朝、1年生が登校してくると、昇降口にはいつの間にか子供たちが集まっていました。「早く来ないかな」と心待ちにしていたのでしょう。みんな笑顔で「おはよう」「待ってたよ」と声を掛け、新しい仲間を迎えていました。子供たちが笑顔で1年生を迎える光景を見て、月立小の温かさをあらためて感じました。休み時間には、さっそく1年生も交えて、みんなでドッジビーや鬼ごっこを楽しんでいました。子供たちの笑い声が、春の校庭いっぱいにこだましていました。

満開の桜の下では、全校児童と教職員が入り交じって写真を撮りました。みんな笑顔で、真ん中には1年生。その一枚には、月立小学校らしい人と人との温かなつながりが表れていました。一人ひとりが大切にされ、みんなで学び合う学校。それが月立小学校です。

始業式では、校長から子供たちに、今年の一文字として「続」を示しました。地域とのつながりや伝統、そして学年をこえて助け合う姿は、これまでの子供たちが大切に受け継いできたものです。また、子供たち一人ひとりの成長も、日々の小さな頑張りの積み重ねによって生まれます。これからも、こうした月立小学校の歩みを大切に「続」けていきたいと考えています。

令和8年度も、本校の教育スローガンである「子供を真ん中においた教育」のもと、地域の皆様、保護者の皆様と手を携えながら教育活動を進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。